



# 横浜カーフリーデー2017 & モビリティウィーク

実施報告書

2017年11月

NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会

## 実施概要

1. 目的  
・車よりも人・自転車・憩いの空間を優先するカーフリーゾーンの体験を中心に、街の魅力を感じ地域の歴史・文化・その他の地域資源を再発見・再認識する。  
・持続可能な都市づくりのため様々な分野の団体及び個人のネットワークを作り、多様な協働を通して次世代に配慮したな環境都市の構築に貢献する。
2. 名称 横浜カーフリーデー2017&モビリティウィーク
3. 開催日 平成 29 年 9 月 23 日（土・祝）
4. 会場 日本大通り・横浜公園
5. 来場者 15,000 人
6. 主催 NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会
7. 後援 横浜市、神奈川県、環境省関東地方環境局、（公財）日本環境協会、（一社）神奈川県バス協会、（一社）神奈川県トラック協会、（一社）神奈川県タクシー協会、横浜商工会議所、（一社）横浜青年会議所、神奈川新聞社
8. 協賛 赤帽首都圏軽自動車運送協同組合・神奈川県支部、学校法人石川学園横浜デザイン学院、イセザキ・モール1・2St,（株）大川印刷、神奈川交運労協、（一社）神奈川県バス協会（一社）神奈川県トラック協会、（一社）神奈川県タクシー協会、（株）サンコウ電子、城南信用金庫、（有）青史堂印刷、（株）精美堂、全国健康保険協会神奈川支部、（株）ダイイチ、ピンクリボンかながわ、よこはまコスモワールド

## イベント内容

今年で14回目となる横浜カーフリーデーはカーフリーデーの目的である

1. 大気汚染の問題を認識する
2. 人や自転車の空間を優先する
3. 公共交通の推進・強化
4. 地域の資産を再認識する

これらの4つの目的を一人でも多くの市民に伝わるように企画した。

1. 「大気汚染の問題を認識する」では持続可能な交通まちづくりを訴えるため、横浜国大の燃料電池車の試乗体験コーナーの開設
  - ・燃料電池車タクシーの展示コーナー開設
  - ・各種燃料電池車の展示
  - ・横浜市内の産の地産地消野菜の販売（輸送時間短縮によるCO<sub>2</sub>の削減効果）
2. 「人や自転車の空間を優先する」では、自転車の利用推進と同時に自転車に走行に関する多くの課題の解決に繋げるため、
  - ・神奈川県自転車商協同組合青年部の自転車利用推進のためのマナーの周知・安全な自転車の乗り方コーナー開設
  - ・スウェーデンのドキュメンタリー映画『Bikes vs Cars クルマ社会から自転車社会へ』の試写会のパンフレット配布
  - ・横浜市のコミュニティサイクル・baybike 普及コーナー開設
  - ・秋田杉間伐材で作った幼児向け木製自転車乗り場の開設
3. 「公共交通の推進・強化」では神奈川県バス協会へのヒアリングによる＜巻き込み事故の発生問題＞の防止に注目し、
  - ・横浜市交通局の協力を得て、日本大通り会場で実際に市営バスによる死角体験コーナーの開設
  - ・横浜市交通局の協力による幼児のためのミニ市営バス・ミニ赤いくつ号乗り場の開設
4. 「地域の資産を再認識する」では、明治時代末から大正時代かけて生糸貿易で財をなした横浜の実業家・原三溪が作った歴史的建造物の宝庫ともいべき三溪園のパンフレットを配布（協力：横浜市文化観光局）

上記の他、日本大通り会場と横浜公園会場で以下のような展示やパフォーマンスを行った。

- ・神奈川県警の着ぐるみによる楽しい交通安全教室・横浜市道路局自転車政策課による着ぐるみによる幼児向け交通安全教室・環境に優しい活動を推進する多数の団体による啓発コーナー
- ・子供たちによるダンスパフォーマンス・子供たちによる一輪車のパフォーマンス
- ・日本大通りにて横浜市消防音楽隊の演奏行進に続いての参加自由のパレード



9月24日付「毎日新聞」

市川崎ビル9階  
 044(244)8518  
 FAX044(210)1457  
 さがみ支局  
 〒243-0417  
 海老名市本郷27  
 00の1  
 046(238)5840  
 FAX046(238)5881  
 小田原支局  
 〒250-0013  
 小田原市南町4  
 の7の11  
 0465(22)5032  
 FAX0465(22)1376  
 横須賀通信部  
 046(822)0053  
 藤沢通信部  
 0466(22)2601  
 鎌倉通信部  
 0467(22)0525  
 相模原通信部  
 042(701)8229  
 平塚通信部  
 0463(20)4608

**広告 は**

神奈川毎日広告社  
 045(201)6861  
 折込広告は毎日折込  
 03(3208)8611

**購読 は**

☎0120-468-012

自転車発電し、風船を膨ら  
ます子ども—横浜市中区で



**自動車使わず  
環境に優しく**

**横浜カーフリーデー**

マイカーを使わない生活を旨とし、環境や交通安全を考えるイベント「横浜カーフリーデー2017&モビリティウィーク」(NP〇横浜カーフリーデー実行委員会主催)が23日、横浜市中区の横浜公園と日本大通りで開かれた。

カーフリーデーのイベントは1997年にフランスで始まり、現在は欧州を中心に世界の2000以上の都市

で開催されている。今回で横浜での開催は14回目となり、環境保全に取り組む市民グループなど40以上の団体が参加した。

会場では、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を出さないエコな生活を考えようと、燃料電池自動車や手回し発電機で動くおもちゃを展示。自転車発電した機械で風船を膨らますコーナーでは、家族連れが交代でペダルをこいで笑顔を見せていた。

【杉山雄飛】



秋田杉製自転車



死角バス体験



パレードと子供たちの笑顔



横浜市消防音楽隊とパレード



資源循環局ミニごみ収集車



一輪車パフォーマンス



横浜市消防音楽隊と横浜カーフリーデー横断幕



横浜市交通局ミニ市営バスとミニ赤いくつ号



オープニングセレモニー



ダンスパフォーマンス



横浜公園会場の様子